

編集後記

- ◇ 新たな年を迎え、読者の皆様のご多幸と益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。
- さて、1月号では特集として「いも類の新品種紹介」を掲載するのを恒例としており、本号でも新たに品種登録の出願公表がなされた5品種について、それぞれの育成者に解説頂いた。特に、サツマイモでは 基腐病 に強い抵抗性を有する「べにひなた」の登場により、でん粉原料用の「こないしん」、焼酎・でん粉原料用の「みちしずく」に加えて青果用もカバーできるようになったことは心強い成果であり、これらの新品種の今後の普及が期待される。
- ◇ 調査・研究のコーナーでは、前号に続いて、サトイモを対象に愛媛県における新品種育成と省力栽培技術の開発について紹介いただいた。愛媛県におけるサトイモの単位面積当たり収量は極めて高く、産地・業界情報のコーナーに収録した現地での取り組みでも説明されているとおり、当該地域では極めて短期間に優良品種への全面更新を実現している。今後、ほかのいも類でも是非、先行事例として参考にしていただければ幸いである。
- ◇ 昨年末、10月16日から20日までの1週間、例年どおり農水省の消費者の部屋で「さつまいも・じゃがいもの週」が開催され、生いもや加工品の展示を行って好評を得た。サンプルの提供に協力いただいた研究機関や企業の皆様には、この場をお借りして感謝申し上げます。
- ◇ いも類振興会にはHPや電話で様々な質問が寄せられる。先日は、仲卸の方から「ジャガイモのクレームで、知り合いから『石いも』ではないかと言われた」との問い合わせ。「ごりいも」しか心当たりがなく、ネット検索の結果、(公財)日本特産農作物種苗協会のHPに掲載された「種馬鈴しょの取扱いハンドブック」の中に「ごりいも(石いも)」の解説があり、同じ事象であることが判明。質問された方には、それに加えて浅間和夫氏のWebジャガイモ博物館に詳細な解説があることを回答したが、業界用語の難しさと基礎データの公開の重要性を改めて痛感した次第である。

いも類振興情報 第158号
2024(令和6)年1月15日発行

定価 1部 500円
年間購読料(季刊) 2,000円

発行 一般財団法人 いも類振興会
〒107-0052 東京都港区赤坂6-10-41 ヴィップ赤坂303
TEL 03-3588-1040 FAX 03-3588-1225
E-mail: imoshin@fancy.ocn.ne.jp
郵便振替 00130-1-110152

印刷 株式会社丸井工文社